

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンターきらら			
○保護者評価実施期間	R8年2月1日 ～ R8年3月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	R8年2月1日 ～ R8年3月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数の落ち着いた環境の中で、子ども一人ひとりに目を向け、丁寧に関わる支援を大切にしている。	・集団、個別活動に応じた対応ができる。 ・口頭や連絡帳に付け加え、より本人の様子をご家庭と共有できるよう、細かい本人の反応や言動などをその都度報告している。	・今後も継続して行う。
2	敷地内に巨大トランプリンやアスレチック等、体をたくさん動かせる遊具を完備している。	・安全な環境の中で、十分に体を動かす。	・より子どもたちがのびのびと通えるよう、活動プログラムの工夫を常に考え行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。 家族支援プログラムの提供が十分ではない。	・保護者会や交流イベントなどの、家族支援が不十分である。	・地域との交流が少ないため、営業時間内で交流ができるイベントの参加を検討していく。 ・保護者会の実施を検討していく。
2	保護者への情報発信が少ない。	・保護者の方が気になっている、災害時の避難や緊急時の対応・感染対策など、保護者への周知、説明ができていない。	・契約時だけでなく、発信の仕方を検討していく。
3			